

# 平成□□年分収支内訳書（農業所得用）

あなたの本年分の農業所得の金額の計算内容をこの表に記載して確定申告書に添付してください。

提出用

この収支内訳書は機械で読み取りますので、黒のボールペンで書いてください。

平成 年 月 日

(自 月 日 至 月 日)

番号 □□□□□□□□

科 目		金額(円)	科 目	金額(円)
収入金額	販売金額 ①		修繕費 ⑪	
	家事消費金額 ②		動力光熱費 ⑫	
	事業消費 ③		作業用衣料費 ⑬	
	小計 ④ (①+②+③)		農業共済掛金 ⑭	
	農産物の棚卸高 期首 ⑤		荷造運賃手数料 ⑮	
	期末 ⑥		土地改良費 ⑯	
	計 ⑦ (④-⑤+⑥)		⑰	
	雇人費 ⑧		⑯	
	小作料・賃借料 ⑨		⑰	
	減価償却費 ⑩		⑲	
	貸倒金 ⑪		⑲	
	利子割引料 ⑫		⑲	
その他の経費	租税公課 ⑬		雜費 ⑲	
	種苗費 ⑭		農産物以外の棚卸高 期首 ⑯	
	畜産費 ⑯		期末 ⑰	
	肥料費 ⑰		経費から差し引く果樹牛馬等の育成費用 ⑱	
	飼料費 ⑲		小計 ⑲ (⑬~⑯までの計-⑰)	
	農具費 ⑳		経費計 ⑲ (⑮~⑯までの計+⑲)	
	農業生産衛費 ㉑		専従者控除前の所得金額 ㉒ (㉑-㉑)	
	諸材料費 ㉒		専従者控除 ㉓	
			所得金額 ㉔ (㉒-㉓)	
			㉓のうち、肉用牛について特例の適用を受ける金額 ㉕	

住 所	業種名	事務所所在地
フリガナ 氏 名	農園名	氏名 (名称)
	電 話 番	電 話 番

## ○雇人費の内訳

氏名・住所又は作業名	日数	現金 現物	合計	源泉徴収税額
	延日	円	円	円
その他(人分)				
計			⑧	

## ○小作料・賃借料の内訳

支払先の住所・氏名	小作料、賃料等の別	面積・数量	支払額
		a·kg	円

## ○事業専従者の氏名等

氏名(年齢)	続柄	従事月数
(歳)		月
(歳)		
(歳)		
(歳)		
延べ従事月数	□□	

【税務署整理欄】

⑯

□□□□□□□□□□

□□

○収入金額の明細

農産物等の種類品名等	作付面積(飼育頭羽数)	販売金額	家事消費事業消費金額	農産物の棚卸高				農産物等の種類品名等	作付面積(飼育頭羽数)	販売金額	家事消費事業消費金額	農産物の棚卸高							
				期首		期末						期首		期末					
				数量	金額	数量	金額					数量	金額	数量	金額				
田畑	a	円	円	kg	円	kg	円	特 殊 施 設	m <sup>2</sup>	円	円	kg	円	kg	円				
								④小計	耕作面積 a			⑤			⑥				
畜	畜産物その他							畜 産 物 そ の 他	頭羽			区分	金額	合計	③				
④小計								畜 産 物 そ の 他	④小計			合 計	③	合 計	③				

○減価償却費の計算

減価償却資産の名称等(繰延資産を含む)	面積又は数量	取得年月	①取得価額(償却保証額)	②償却の基礎になる金額	③償却方法	耐用年数	④償却率又は改定償却率	⑤本年中の償却期間	⑥本年分の普通償却費(④×⑤×⑥)	⑦特償却費	別償却費	⑧本年分の償却費合計(⑥+⑦)	⑨事業専用割合	⑩本年分の必要経費算入額(⑧×⑨)	⑪未償却残高(期末残高)	摘要要
		年月 ・ ( )	円	円		年		月 12	円	円	円	円	%	円	円	
		・ ( )						12								
		・ ( )						12								
		・ ( )						12								
		・ ( )						12								
		・ ( )						12								
計								12								⑩

(注) 平成19年4月1日以後に取得した減価償却資産について定率法を採用する場合にのみ①欄のカッコ内に償却保証額を記入します。

○果樹・牛馬等の育成費用の計算(販売用の牛馬、受託した牛馬は除きます。)

果樹・牛馬等の名称	取得・生産・定植等の年月日	①前年からの繰越額	②本年中の種苗費、種付肥料、農薬等の投下費用	③本年中の肥料、農薬等の投下費用	④小計(②+③)	⑤育成中の果樹等から生じた収入金額	⑥本年に取得価額に加算する金額(④-⑤)	⑦本年中に成熟したもののが取扱い価額	⑧翌年への繰越額(⑦+⑧-⑨)	⑨⑩⑪の欄の金額の計算方法	○本年中における特殊事情
		円	円	円	円	円	円	円	円		
計					⑭						

# 平成□□年分収支内訳書（農業所得用）

あなたの本年分の農業所得の金額の計算内容をこの表に記載して確定申告書に添付してください。

控  
用

平成 年 月 日

(自 月 日 至 月 日)

番号 □□□□□□□□□□

○申告には、必ず提出用を使ってください。

科 目		金額(円)	科 目	金額(円)
収入金額	販売金額 ①		修繕費 ⑪	
	家事消費金額 ②		動力光熱費 ⑫	
	事業消費 ③		作業用衣料費 ⑬	
	小計 ④ (①+②+③)		農業共済掛金 ⑭	
農産物の棚卸高	期首 ⑤		荷造運賃手数料 ⑮	
	期末 ⑥		土地改良費 ⑯	
	計 ⑦ (④-⑤+⑥)		⑰	
雇人費	⑧		⑱	
小作料・賃借料	⑨		⑲	
減価償却費	⑩		⑳	
貸倒金	⑪		㉑	
利子割引料	⑫		㉒	
その他の経費	租税公課 ⑬		㉓	
	種苗費 ⑭		㉔	
	畜産費 ⑮		㉕	
	肥料費 ⑯		㉖	
	飼料費 ⑰		㉗	
	農具費 ⑱		㉘	
	農葉生費 ⑲		㉙	
	諸材料費 ⑳		㉚	
	㉛	㉛のうち、肉用牛について特例の適用を受ける金額	㉛	

住 所	業種名	事務所所在地
フリガナ 氏 名	農園名	氏名(名称)
電 話 番 号	電 話 番 号	電 話 番 号

## ○雇人費の内訳

氏名・住所又は作業名	日数	現金 現物	合計	源泉徴収税額
	延日	円	円	円
その他(人分)				
計			⑧	㉛

## ○小作料・賃借料の内訳

支払先の住所・氏名	小作料、賃耕料等の別	面積・数量	支払額
		a·kg	円

## ○事業専従者の氏名等

氏名(年齢)	続柄	従事月数
(歳)		月
(歳)		
(歳)		
(歳)		
延べ従事月数	□□	

○収入金額の明細

農産物等の種類品名等	作付面積(飼育頭羽数)	販売金額	家事消費事業消費金額	農産物の棚卸高				農産物等の種類品名等	作付面積(飼育頭羽数)	販売金額	家事消費事業消費金額	農産物の棚卸高							
				期首		期末						期首		期末					
				数量	金額	数量	金額					数量	金額	数量	金額				
田畠	a	円	円	kg	円	kg	円	特 殊 施 設	m <sup>2</sup>	円	円	kg	円	kg	円				
		(A) 小計																	
畜	農産物計 (A) + (B)	耕作面積 a	頭羽	⑤	⑥	区分	金額	畜 產 物 そ の 他	畜 產 物 そ の 他	⑦	⑧	合 計	③	畜 產 物 そ の 他	⑨				
(A) 小計				①	②	合 計	③												

○減価償却費の計算

減価償却資産の名称等(繰延資産を含む)	面積又は数量	取得年月	① 取得価額(償却保証額)	② 債却の基礎になる金額	③ 債却方法	耐用年数	④ 債却率又は改定債却率	⑤ 本年中の債却期間	⑥ 本年分の普通債却費(②×④×⑤)	⑦ 特別債却費	⑧ 本年分の特債却費合計(⑥+⑦)	⑨ 事業専用割合	⑩ 本年分の必要経費算入額(⑧×⑨)	⑪ 未償却残高(期末残高)	摘要
		年月 ・	円 ( )	円		年		月 12	円	円	円	%	円	円	
		・	( )					12							
		・	( )					12							
		・	( )					12							
		・	( )					12							
		・	( )					12							
計								12							⑩

(注) 平成19年4月1日以後に取得した減価償却資産について定率法を採用する場合にのみ①欄のカッコ内に債却保証額を記入します。

○果樹・牛馬等の育成費用の計算(販売用の牛馬、受託した牛馬は除きます。)

果樹・牛馬等の名称	取得・生産・定植等の年月日	① 前年からの 繰越額	② 本年中の種苗費、種付料、素畜費の投下費用	③ 本年中の肥料、農薬等の投下費用	④ 小計 (②+③)	⑤ 育成中の果樹等から生じた収入金額	⑥ 本年に取得価額に加算する金額(⑤-④)	⑦ 本年中に成熟したもののが取扱い価額	⑧ 翌年への繰越額 (⑦+⑧-⑤)	⑨、⑩、⑪の欄の金額の計算方法	⑫
		円	円	円	円	円	円	円	円		
計					⑭						

○この用紙は控用です。申告には、必ず提出用を使つてください。